

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 24 年 11 月 29 日  
東京電力株式会社

## <1. 原子炉および原子炉格納容器の状況> (11/29 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*1	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系:約2.5 m <sup>3</sup> /h	27.1	106.2 kPa abs	A系*2: - vol%
		給水系:約2.4 m <sup>3</sup> /h			B系: 0.07 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系:約4.1 m <sup>3</sup> /h	39.8	5.53 kPa g	A系: 0.08 vol%
		給水系:約1.8 m <sup>3</sup> /h			B系: 0.08 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系:約3.8 m <sup>3</sup> /h	39.9	0.24 kPa g	A系: 0.19 vol%
		給水系:約1.9 m <sup>3</sup> /h			B系: 0.18 vol%

\*1 絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

\*2 電源停止作業に伴いデータ欠測

## <2. 使用済燃料プールの状況> (11/29 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	停止中	16.0 <sup>1</sup>
2号機	循環冷却システム	運転中	14.2
3号機	循環冷却システム	運転中	13.8
4号機	循環冷却システム	運転中	23

\*各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルへヒドラジンの注入を適宜実施。

※1 1号機使用済燃料プール循環冷却システム停止中の為、至近のデータ(11/25 11:00 現在)を掲載。

・11/25 13:54 1号機使用済燃料プール代替冷却システムにおいて、所内共通電源改造工事に伴い当該システムの電源が停止すること(電源停止期間は 11/27 から 28 までを予定)から、事前に同システムを停止(停止時プール水温度:16.0℃)。なお、11/28 に冷却を再開する予定だったが、当該システムの電源停止予定が変更となったことから 11/29 に冷却を再開する予定。1号機使用済燃料プール水温度の上昇率は約 0.088℃/h と評価しており、11/28 5:00 現在、約 21.5℃と推定されることから、運転上の制限値 65℃に対して余裕があり、使用済燃料プール水温管理上問題はない。

## <3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況>

号機	排出元 →	移送先	移送状況
2号機	2号機タービン建屋	→ 3号機タービン建屋	11/25 10:14 ~ 移送実施中
3号機	3号機タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設 [ 雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋) ]	11/23 10:15 ~ 移送実施中
4号機	4号機タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設 [ 雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋) ]	11/26 9:51 ~ 11/29 10:05 移送実施

・港湾内の物揚場に係留しているメガフロートについて、今後、港湾内での工事や資機材搬入のために輸送船等を着岸させる必要があることから、港湾内北側に移設する予定。移設にあたり、メガフロートには、5・6号機タービン建屋の溜まり水を貯留しており、低濃度の放射性物質が含まれていることから、海への放射性物質漏えいリスク低減のため 11/22 10:10 より 11:59 まで、メガフロートから5・6号機周辺仮設タンク等への溜まり水の移送を実施。なお、移送については、概ね1ヶ月程度を予定。

<4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (11/29 7:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)
運転状況	停止中	運転中*	停止中	水バランスをみて 断続運転	水バランスをみて 断続運転

\*フィルタの洗浄を適宜実施。

・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

<5. その他>

- ・H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5, 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。
- ・H24/2/23～ 6号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- ・H24/3/6 ～ 5号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- ・H24/4/25～ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。

以 上